

## ふるさと納税の使い道

小林市のふるさと納税では、寄付者が7つの寄付金の使い道を選択できます。

寄せられた寄付金は、寄付者の意向に沿った形でさまざまな事業の財源として活用されています。

### 小・中学校の給食費半額補助で子育て世代を支援



子育て世代の負担を軽減するため、小・中学校の給食費半額補助を継続。コロナ禍で価格高騰した学校給食食材費の増額分を補助しました。

### 子ども医療費の助成で子どもの健全な発育を促進



未就学児や小・中学生の保険診療分の医療費を一部助成することで、子どもの健全な発育を促進しています。(薬局は全額助成)

### 小林市産宮崎牛の認知度向上へ全国和牛能力共進会出品などを支援



小林市産宮崎牛の認知度向上を図るため、関係機関と連携し、和牛のオリンピックといわれる全国和牛能力共進会への出品などに対する支援を行いました。

### 特別支援教育支援員やALTを配置し、教育環境の充実を図る



特別な支援が必要な児童生徒の学びをサポートする特別支援教育支援員や、ALT(外国語指導助手)を配置し外国語活動等を推進することで、教育の質の向上を図りました。

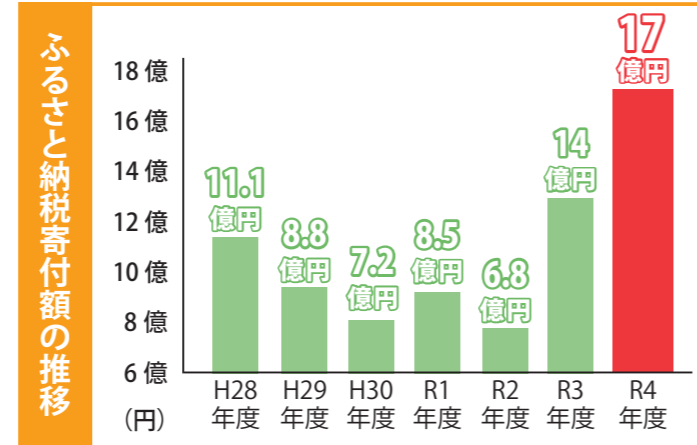
この他にも、ふるさと納税を財源としてさまざまな事業を実施しています

## 令和4年度寄付額

令和5年3月23日現在

# 17億円 (前年比121%増)

令和3年度は効果的なプロモーションの実施や返礼品の見直しで約14億円(令和2年度比200%)の寄付を獲得。令和4年度もその流れを継続し、独自の取り組みを展開することで、過去最高額を更新しました。



### ふるさと納税の取り組みに欠かせない生産者の声



お菓子の国 たんぼほ  
たつし まさかず  
**龍石 政和 さん**

寄付者の中には、リピーターになって毎年寄付してくださる方もいます。「感動した」と電話をいただいたり、中には直接会ってみたいとお店に来店して

くださった方もいらっしゃいました。こういった出会いにつながることは、お金に変えられない喜びです。

全国の方に注文していただき、結果として地域の役に立っていることもうれしく思います。

小林市畜産連合振興会理事長  
畜産農家  
やまだ しんじ  
**山田 真司 さん**



昨年の鹿児島全共で小林市産を含む宮崎牛が「おいしさ日本一」を獲得し、とてもいいPRになりました。

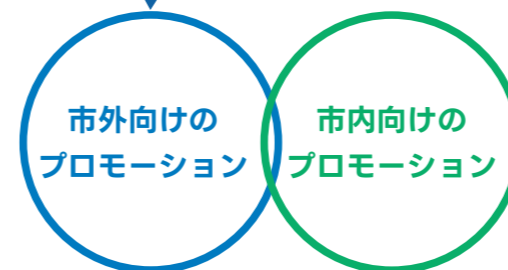
現在は、コロナ禍でインバウンド消費がなくなり、さらに物価高騰で畜産農家は苦しい思いをしています。コロナ禍も落ちてきた中で、ふるさと納税を通じた消費拡大に期待したいです。

小林市の牛はたくさんの賞を受賞しており、他にも豊かな水やおいしい食材など素晴らしいものがたくさんあります。その素晴らしいものを確実にPRしていくことが重要だと思います。



### プロモーションの狙い

地場産品をPR 小林市のファン獲得  
ふるさと納税の寄付額拡大  
地場産品の消費流通拡大



地域の魅力を再発見  
まちへの愛着や誇りを高める

小林のファン(関係人口)が増加中!



※こばやしファン・サポーターズクラブの会員やSNSのフォロワー数などから試算

関係人口とは、特定の地域に継続的に多様な形でかかわる人たちのこと。よく、観光以上移住未満と例えられます。関係人口が増えることで、地域の活力が高まり、持続可能な地域になっていくため、市では地域の魅力を内外に発信し、まちのイメージを向上させる「シティプロモーション」に取り組んでいます。その取り組みの一環として、令和4年度は、市民や市出身者など、幅広い人たちの力を結集して市の魅力を発信するプロジェクト「ハッシンコバヤシ!」に取り

組んできました。また、まちの魅力発信や地域を元気にするために重要な役割を担う「ふるさと納税」は、令和4年度に過去最高額の17億円を突破。ふるさと納税は、子育てや地域活性化のためのさまざまな事業の財源になっているほか、小林市の取り組みへ共感してもらい、つながりを作ることができると、関係人口拡大の重要なツールにもなっています。特集では、令和4年度のふるさと納税とハッシンコバヤシ!の取り組みを振り返ります。

# 小林の関係人口を増やそう!





# ハッシンコバヤシ!! で小林を大好きに!

小林には数えきれないほどの素敵な魅力が溢れています。そんな素晴らしい魅力を知って  
もらわないのはもったいない! 「ハッシンコバヤシ!!」プロジェクトでは、市民や市出身者  
も含めたさまざまな人のチカラを結集して、魅力をハッシンする取り組みを進めてきました。



# ふるさと納税で地域を元気に!

ふるさと納税には、地域のファンになってもらうことで地域を元気にする大きな役割があり  
ます。市内事業者の返礼品にこだわるなど市内の経済を循環させ、制度を活用して地域課  
題の解決を図るなど、寄付額以外の部分でも効果を生み出す取り組みを行ってきました。

## 高校生や小学生が 小林の魅力をハッシン!!

小林で活躍する「わけもん」  
や自身の高校の魅力を広報こば  
やしで紹介している「ハッシン  
コバヤシ!! 高校生記者クラブ」。  
ユニークな取り組みとして、  
新聞やテレビなど、さまざまな  
メディアで取材されています。  
また、ハッシンコバヤシ!! と  
細野小とのコラボでは、地方創  
生課職員もサポートしながら6  
年生がPRパンフレットを作成。  
修学旅行先で配布するなど  
して魅力をハッシンしました。



## 広がるハッシンの輪 テレビやラジオで魅力をハッシン!!

流ちょうな西諸弁を操る「イ  
ケおじ」3人組でおなじみ、ハッ  
シンコバヤシ!! のコンセプト  
ムービー。小林の魅力とともに  
人の温かさが伝わると評価さ  
れ、民間企業のCMを押さえて  
2022年「UMK CM大賞」を  
受賞するなど大きな話題にな  
りました。  
テレビやラジオへの出演が増  
え、小林や西諸弁の魅力が広く  
伝わるなど、ハッシンの輪が広  
がりました。



## 都市部のファンとのつながりを強化 東京でファンミーティング開催

都市部でふるさと納税を通じ  
て小林市のファンになった人た  
ちと一緒に、ふるさと納税の返  
礼品を開発する、全国的にも珍  
しい取り組みを実施しました。  
イベントでは、参加者と一緒  
に郷土料理「ねったぼ」を調理・  
試食し、返礼品としての打ち出  
し方を検討。  
取り組みにより、寄付者との  
つながりをさらに深め、よりコ  
アなファンになっていただきました。



## イベントに参加し魅力をPR 県内外で小林のファンが増加中!

都市部で開かれたPRイベン  
トに参加し、小林市の特産品を  
PRしました。来場者と対面で、  
コミュニケーションをとりなが  
ら魅力を知ってもらうことで、  
小林市をより身近に感じてもら  
えるイベントとなりました。  
また、県内でも、宮崎観光ホ  
テルと連携して「真夏の激アツ  
こばやしマルシェ in 宮観」を  
開催。ホテル内イベントテラス  
で特産品などを販売し、小林市  
の魅力をPRしました。



## 写真で小林の魅力を再発見 フォトコンテストで魅力をハッシン!!

写真を通じて小林市の魅力を  
再発見、ハッシンしてもらう市  
民参加型の企画として、「シン  
セン! こばやし! フォトコンテ  
スト」と、「ハッシンコバヤシ!!  
フォトコンテスト」を開催しま  
した。  
また、広報×Instagramの  
連動企画として、「#ハッシン  
コバヤシ」のハッシュタグをつ  
けて投稿された写真を、毎月数  
点広報こばやしに掲載していま  
す。(今月号は3分に掲載)



## 蛙亭・イワクラさんが 小林の魅力をハッシン!!

昨年7月に、小林市出身の人  
気お笑い芸人、蛙亭・イワクラ  
さんが「こばやしスペシャルP  
R大使」に就任。  
バラエティ番組などへの出演  
を通じて、魅力をハッシンして  
いただいています。  
昨年12月、市公式 Youtube  
チャンネルでイワクラさん  
出演・作詞のPR動画を公  
開しました。



## 肉のおいしさ日本一キャンペーンで 和牛の聖地小林市をPR

昨年10月の全国和牛能力共進会で、小林市産を含む宮  
崎牛が「肉のおいしさ日本一」を獲得。この快挙を記念し、  
「和牛の聖地小林市」を広くPRするため、「肉のおいしさ  
日本一キャンペーン」を展開しました。Twitterでのフォ  
ロー&リツイートキャンペーン、ふるさと納税で食べた  
お肉の感想をツイートしてもらうなど、小林市産宮崎牛の  
おいしさを拡散する取り組みを行いました。



## フードロス削減に貢献! 規格外の商品を返礼品として提供

味や品質に問題はないものの、規格外などの理由で商品  
とならないものを、返礼品として提供する「フードロス削  
減プロジェクト “コバヤシB印”」に取り組んでいます。  
提供しているのは、さまざまな部位が混ざったお肉の切り  
落としやケーキの切れ端を集めたものなど。フードロス  
削減に貢献しつつ、おいしいものを食べられるという一石  
二鳥のプロジェクトになっています。



## それぞれの立場で それぞれの好きをハッシンしよう!

市外に小林市のファンを作るためには、まず私  
たち一人ひとりが小林市のファンになり、まちに  
誇りと愛着を持つことが必要です。

令和5年度も、市民の皆さん、そして市外の皆  
さんに小林市をもっと好きになってもらえる取り  
組みを進めていきます。

皆さんも、ぜひそれぞれの立場で、それぞれの  
やり方で、「自分の好きな小林」を「ハッシン」  
してください!

## 全国的に評価されるハッシンコバヤシ!!

全国の事例が紹介される広報専門誌  
月刊「広報」で優良事例として紹介!



全国各地の優良事例が掲載  
される広報専門誌『月刊「広  
報」』((公社)日本広報協会  
発行)で、「ハッシンコバヤ  
シ!!」の取り組みが大きく紹  
介されました。この他、新聞・  
ニュースでも取り組みが取り  
上げられています。

## 全国的に評価される小林市のふるさと納税

日本最大級のふるさと納税の優良事例発表  
ふるさとチョイス AWARD 大賞を受賞!



ふるさと納税総合サイト  
「ふるさとチョイス」主催の  
アワードで、地方創生課の  
佐藤友和主幹が最高賞の大賞  
を受賞。寄付獲得だけでなく  
地域として持続していくため  
に、将来を見据えて展開する  
取り組みが評価されました。

## 地域の課題解決に取り組む事業を応援 「ふるさと起業家・団体等支援事業」

地域資源を活用して地域課題解決を目指す事業を新たに  
起業、拡充して取り組む人を応援する、「ふるさと起業家・  
団体等支援事業」に取り組んでいます。

令和4年度は、高齢者の見守り支援の事業など、2件  
の事業を認定。ふるさと納  
税制度を活用したクラウド  
ファンディングを実施し、  
資金の調達を支援しまし  
た。

